

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	①汚染水貯留 (「技術提案募集の内容」の該当番号を記載願います)
御提案件名	ゴム袋による汚染水タンクの腐食防止、2次的な汚染水漏れ防止
御提案者	東洋ゴム化工品株式会社 (福島ゴム株式会社 品質技術室 藍原)
<p>1. 技術等の概要 (特徴、仕様、性能、保有者など)</p> <p>(1) 特徴・仕様 ※添付、資料A参照下さい。 汚染水タンクの内部に、タンク内径に合わせた気密ゴム袋を挿入することにより、タンク内壁に汚染水が直接接触しない為、内面の腐食を防止します。 また、気密ゴム袋は、2次的な汚染水漏れ防止となり、地盤沈下等でのタンク傾きによる汚染水漏れの防止ともなります。 気密ゴム袋挿入は、汚染水タンク上部にMinφ600の点検口あれば、点検口を挿入口として挿入し設置することが可能です。</p> <p>(2) 性能 ※添付、資料B参照下さい。 弊社ゴム袋は、火力発電で東京電力・中部電力・四国電力・九州電力の純水タンクの酸素遮断用ゴム袋で寿命20年、原子力発電では、関西電力・四国電力・九州電力・北海道電力のAFTダイヤフラム (純水タンク・ほう酸タンク酸素遮断用ゴム袋) として10年～20年の寿命実績があります。 他、キャスクに使用するキャスクカバーの製造もしております。</p> <p>(3) 保有者 福島ゴム株式会社</p>	
<p>2. 備考 (以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします)</p> <p>・開発・実用化の状況 (国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む)</p> <p>弊社 AFTダイヤフラム (純水タンク・ほう酸タンク 酸素遮断用ゴム袋) 納入実績は、平成1年から現在まで192基となっています。 ※添付、資料C参照下さい。</p> <p>・開発・実用化に向けた課題・留意点 汚染水 (Cs137:104Bq/L、Sr90:108Bq/L) でのゴム袋の耐性。</p> <p>・その他 (特許等を保有している場合の参照情報等) 特許出願準備中。</p>	

(備考) 技術提案募集の内容 (6分野)

- ① 汚染水貯蔵 (タンク等)
- ② 汚染水処理 (トリチウム処理等)
- ③ 港湾内の海水の浄化 (海水中の放射性物質の除去等)
- ④ 建屋内の汚染水管理 (建屋内止水、地盤改良等)
- ⑤ 地下水流入抑制の敷地管理 (遮水壁、フェーシング等)
- ⑥ 地下水等の挙動把握 (地下水に係るデータ収集の手法、水質の分析技術等)